



Calfman Japan

DUATHLON GRAND PRIX

Season 13

北関東ステージ

国営武蔵丘陵森林公園大会



公式ホームページ

<http://www.calfman.jp/>



主催 Calfman Japan 大会実行委員会、公益社団法人 日本トライアスロン連合

競技主管 埼玉県トライアスロン連合

協賛 株式会社ジーオーエヌ、江崎グリコ株式会社、株式会社 Champion System Japan、
有限会社スポーツアシスト、T Y R、有限会社スタイルバイク、カリフォルニアレーズン協会、
株式会社 K2JAPAN、他

協力 J T U 関東ブロック協議会

ごあいさつ



大会会長
公益社団法人 日本トライアスロン連合会長
國分 孝雄

カーフマンジャパン・デュアスロングランプリ シーズン１３の開催にあたり、トライアスロンファミリーを代表して心からお祝いを申し上げます。

今年度も国内唯一のデュアスロンシリーズレースが全国各地で開催されます。これらの大会を通じデュアスロンの普及と強化が促進され、世界への挑戦の第一歩となることは大きな楽しみであり、この競技の発展が広く国民の健康促進と地域振興の一助となることを期待しています。

国際トライアスロン連合（ITU）が推進するデュアスロンは、世界的な広がりを見せており、日本選手の活躍も相次いで報告されています。今年 10 月にオーストラリアで行われた ITU 世界デュアスロン選手権では、上田藍選手がエリート 2 位、安藤雪乃選手が U23 女子 3 位、有蘭早優選手がジュニア女子 3 位とメダル表彰の栄誉に輝いています。エイジグループ部門においても日本代表派遣された選手 20 名が好成績を収めました。

昨年、私ども JTU は 20 周年を迎えました。国際トライアスロン連合（ITU）は 25 年を経て、今やオリンピック競技の中核スポーツにまで育っています。そして、来年の岩手国体で念願のトライアスロン公式競技として実施されます。昨年のインチョン・アジア大会ではチームリレーも加わり、ますますトライアスロンの社会的認知が高まってまいりました。

結びに、本大会の開催にあたり、ご協力をいただきました多くの企業・団体と地元ボランティアの皆様へ、厚くお礼を申し上げます。カーフマン大会が、選手たちと地域社会との交流の場となり、選手たちの目標として末永く開催されますよう期待し、大会の成功をお祈り申し上げます。



Calfman Japan DUATHLON GRAND PRIX SEASON13

北関東Stage

大会概要

開催期日	2016年1月17日(日)
開催場所	国営武蔵丘陵森林公園内特設コース
主催	Calfman Japan 大会実行委員会・公益社団法人日本トライアスロン連合
競技主管	埼玉県トライアスロン連合
協賛	株式会社ジーオーエヌ、江崎グリコ株式会社、 株式会社 Champion System Japan、有限会社スポーツアシスト、 T Y R、有限会社スタイルバイク、カリフォルニアレーズン協会、 株式会社 K2JAPAN、他
協力	J T U 関東ブロック協議会

大会会場案内

会場	国営武蔵丘陵森林公園内特設コース 〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田1920 ■東武東上線「森林公園駅」下車 バス乗り場は北口です。 ○直通バス「公園南口行」バスにて終点下車(約7分) 土日祝のみ運行 ○路線バス「立正大学行」バスにて 南口→滑川中学校前 西口→西口前下車 ■JR高崎線「熊谷駅」下車 ○路線バスで「立正大学」乗換 西口前(約30分)又は南口前(約35分)下車 ■関越自動車道「東松山IC」から熊谷方面へ約10分
----	---





大会役員

大会会長	公益社団法人日本トライアスロン連合会長	國分 孝雄
大会副会長	埼玉県トライアスロン連合会長	浅田 浩之
実行委員長	埼玉県トライアスロン連合理事長	長谷 利孝
大会技術代表	埼玉県トライアスロン連合	長谷 利孝
大会審判長	埼玉県トライアスロン連合	松澤 秀明
レースディレクター	ネオシステム株式会社	清本 直
事務局	ネオシステム株式会社	青木 順子

大会事務局：〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6 グラン・ヴェルジェ 104
TEL.042-379-5201（受付時間 月～金 10：00～18：00）
受付時間外における緊急のご連絡及び大会前日・当日のご連絡は TEL.090-3232-7445（清本）
までお願いいたします。

競技内容・距離

【エリート】 第1ラン：5km バイク：31.5km 第2ラン：5km

表彰

エリート 男女別各1～3位

競技内容の変更及び中止

気象状況などにより大会開催が危険と判断される場合は、大会当日 7:00 に主催者によりコース・距離などの変更、または中止を決定いたします。雷などで危険な状況が発生した場合は競技を中断する場合があります。その後、再スタートや中止の判断をいたします。

大会公式フェイスブックページ（下記 URL 参照）で周知いたします。

<http://www.facebook.com/pages/CALFMAN-JAPAN/228374383894901>

尚、中止・変更があった場合でも参加費の返還はいたしかねます。また、会場までの交通費の補償なども行いかねますのでご了承ください。



大会スケジュール

■ 2016 年 1 月 17 日 (日)

9:30 ~ 10:00 当日受付 (溪流広場: 本部テント)

9:30 ~ 10:00 バイクコース試走

10:00 ~ 10:15 開会式・競技説明会 **※必須**

10:25 ~ エリート女子 競技開始

12:20 ~ エリート男子 競技開始

14:20 ~ 表彰式/閉会式

※男女共、バイクコース試走は9:30~10:00のみとなります。

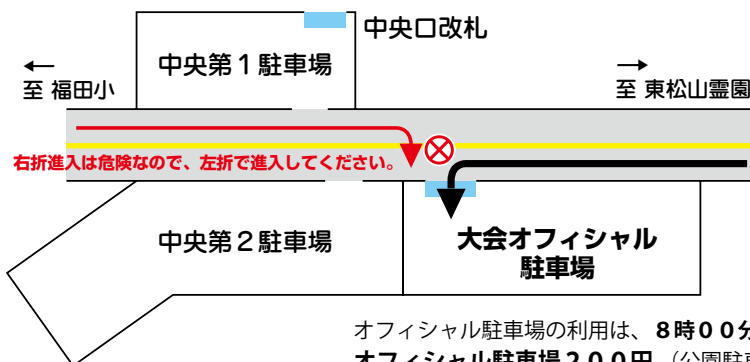
※10:00から開会式・競技説明会がありますので、必ず出席してください。

※バイクは召集時間前 (**スタート 15 分前**) までに、必ずトランジションエリア内バイクラックに準備してください。

※なお、当日の天候により止むを得ない場合は、主催者側の判断でスケジュールおよび競技内容の変更又は、中止することがあります。

駐車場

大会オフィシャル駐車場をご利用ください。



オフィシャル駐車場の利用は、**8時00分**からとなります。

オフィシャル駐車場 200円 (公園駐車場料金: 620円)

※必ず先払いの上、お釣りの無いようにお支払いください。

※注意

大会オフィシャル駐車場から入園するために横断する県道 307 号線道路は、車幅が広く通行する大型車などがかなりのスピードで走行する非常に危険な道路です。

横断の際には左右の安全を充分に確認の上お渡りくださいますようお願いいたします。



大会全般における諸注意

①競技のメイン会場（スタート・フィニッシュ地点）は、【**溪流広場**】です。

受付・入園ゲートの【**中央自転車持込口**】から、徒歩で10分程度要しますので、競技時間に遅れないようにお願いします。



②公園規則により、**自転車はレース時・コース試走時以外乗車することはできません**。園内では必ず押して歩いてください（失格の対象となります）。

②競技中も、公園は一般開園中です。来園者、観客、特にお子様には十分注意し、危険のないよう十分な配慮をお願いします。

③エイドステーションでの紙コップ等は、所定の場所、もしくはエイド付近に捨てるよう心掛けてください。

④コースは美しい国営公園内です。ごみ等は、所定の場所に捨てるか、できれば各自が持ち帰るようご協力をお願いします。

⑤競技中、緊急車両が通行する場合があります。その場合は速やかに道をお譲りください



- ⑥貴重品、所持品のお預かりは出来ません。各自の責任において管理願います。
- ⑦各自、自転車の安全点検（ハンドル、ボルト類の緩み等）を充分行って下さい。特にタイヤの適正空気圧をチェックしてください。
- ⑧下記物品は公園への持込禁止となっておりますのでご注意願います。

開園時間 9:30
閉園時間 16:00
Opening at ~~9:30~~ a.m. / Closing at ~~4:00~~ p.m.

持ち込み禁止
Items not permitted within the Park premises
(The staff keep them at the entrance)

 parasol	 skateboard	 insect cage insect net	 tent	
 portable cooking stove	 metal bed	 kickboard	 folding bicycle (with assist)	 lacrosse

その他： 銃刀類 / ゴルフ道具 / 硬球 / ボート / フーメラン / 弓矢 / バテンコ / 原動機付自転車
釣道具 / 球技用ネット / ソリ / 植物採取道具 / エンジン付模型 /
テニスラケット / スポーツカイト / その他置放状況等により係員が危険と判断したもの

サイクリングコース
BIKEWAY

歩行者進入禁止
No Pedestrians



 Musashi-Kyuryo National Government Park 

- 入場は 9:30 からとなります（入園整理券を使用しての入園は「**中央口改札**」のみとなります。）
※送付物に同封された「**入園整理券**」を係員にお渡しください。
※選手以外は園の券売機で「入園券」をご購入いただき、ご入園ください。
＜大人（高校生以上）：410 円、シニア（65 歳以上）：210 円、小人（小・中学生）：80 円＞
- 9:30 よりメイン会場（溪流広場）本部にて当日受付を致します。必ず受付を済ませてください。



送付物（配布物）

送付物の内容をご確認ください。

①入園整理券：1枚（※選手分のみとなります。）

②大会プログラム（本誌）：1冊

③ナンバーカード：2枚

前・後に装着してください。

※ナンバーベルト装着可

※前、後を間違えないようにしてください。

※安全ピン（ゼッケン用）が必要な方は、
受付にてお受け取りください。

（前）



（後）



④ステッカーセット：1枚

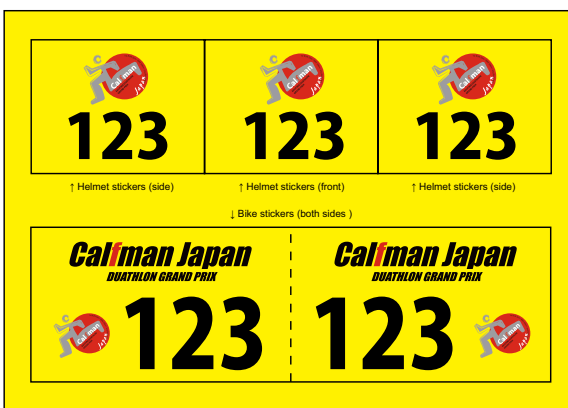
ヘルメット用ステッカー：小／3枚

（正面と左右両面）

バイクステッカー：大／2枚

（左右両面から見えるように）

※ミシン目で切れるようになっています



⑤大会オリジナルグッズ（サコッシュ）

※対象者のみ（リピーター割引対象者、2回目以降参加の招待選手は除く）

計測用タグ

召集時にお渡しするアンクルバンドにはICタグが挿入されており、こちらで皆さんのタイム計測を行っております。フィニッシュするまでは絶対に外さないでください。また、同時にお渡しするゴムも落下防止の為に付けいただくようお願いいたします。正確な計測を行うため、ICタグの性質を理解されレースに臨んでください。**レース中以外で計測場所に近づくと反応し、集計時のチェックに大きく時間を割かれてしまいます。**尚、今回のレースにおける2回のトランジションタイムは、全クラスともバイクタイムに含まれます。**この大会では最新のタイム計測機器を使用しています。機械計測の記録を最も有効な基準として採用します。**フィニッシュ計測マット上で立ち止まったりしないで、通過するようにしてください。

水分摂取

冬の大会でも体内の水分は確実に失われています。ランコース上のエイドステーション、バイク競技中のボトルで十分な水分摂取を行って、脱水に関して防衛してください。



スポーツ保険

大会保険に基づき大会中の事故を補償いたします。ただし故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争や他の争乱などは対象外となります。

- ・死亡：1,000万円
- ・入院日額：5,000円
- ・通院日額：2,500円
- ・賠償責任：1億円
- ・免責：1万円

競技ウェア（フロントジッパー付着用）について

最高気温10度前後が予想されるための防寒対策として今大会では「競技中にファスナーを下げないこと」を条件に、着用を特別に許可します。競技中にファスナーを下げている選手を発見した場合、ペナルティの対象となります。

車検

車検はとり行いませんので、安全に走行できる状態をご準備の上、参加してください。会場内でのメカニックサービスはありません。

トランジション

エリア内は競技者と特別に許可を受けた者以外は立入りできません。エリア内はペダル片足走行も含め乗車禁止です。ヘルメットのストラップはラックからバイクを外す前にしっかりと締め、フィニッシュ後はバイクを掛けてからストラップを外してください。前輪の先端が「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」を守ってください。エリア内でのルール遵守にご協力ください。バイクの設置方法が守られていないバイクは、選手への了承を得ずに直しますのでご了承ください。

バイク周回

自己責任において規定の周回をカウントしてください。

※先頭の選手に周回遅れとなった選手はDNFとなりますので、競技を中止してください。

リタイア（DNF）

大会において選手の安全を確保は最も優先する事項です。万レース前やレース中に体調が優れない場合は「勇気あるリタイア」も選択のひとつです。安全に楽しくレースを行ってください。

リタイアする場合は必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨とレースナンバーを報告し、アンクルバンド（タグ）をお渡しください。



競技規則

①本大会競技規則は、JTU 競技規則に準じ、一部ローカルルールとする。

http://www.jtu.or.jp/marshall/pdf/jtu_competition_rules_2006.pdf

上記の JTU 競技規則におけるランおよびバイク部分をよくお読みになり、デュアスロンの競技特性を理解した上でレースに臨んでください。

② この競技は、一人の選手が独力でランニングと自転車（バイク）を連続して行うものである。

③ 計測にアンクルバンドを使用する。競技中常時着用すること

④ 選手はスポーツマンシップをもって行動し、競技中は安全を第一に考え、お互いに迷惑になる行為は慎む。

⑤ 選手は、大会役員（競技役員・コース監察員等）の指示にはすみやかに従うこと。

⑥ 選手が競技規則に違反した場合は、タイムペナルティーまたは、失格になる場合がある。

⑦ 競技役員は、参加選手の競技続行が当人の健康を害したり、致死の恐れありと判断した場合には、競技をやめさせる権限を持つ。

⑧ 選手が競技からリタイアする場合は、直ちに競技役員に申し出て大会本部に通告する。

ドラフティング禁止ルールについて

今大会は、ドラフティング禁止ルールで行われます。以下に、JTU ルールブックからの抜粋を引用いたします。

デュアスロンの競技規則について

JTU 競技規則（ラン及びバイク部分）

■ 競技者の心得

- 1 大会は予測できないことの連続である。風、暑さ寒さ、観客や車の飛び出し、見えないくぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- 2 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。マイペース。リタイアの勇気を持つ。
- 3 ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。

■ 競技について

- 1 競技は車の運転と同じ＝競技者は運転手。審判員は警察官。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速、ゆずりあいの精神で安全運転。

■ ウェアと用具

- 1 バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズを着用。
- 2 レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが極端に下にならないよう配慮。
- 3 サングラスは、透明度の高いものがよい。総合フィニッシュでは、サングラスをはずす。
- 4 音響・通信機器の使用は禁止。

■ スムーズな競技とリタイア

- 1 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
- 2 リタイアは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。



■ トランジションエリア

- 1 競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- 2 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 3 乗車ラインを越えて、一歩以上足を地面に着いてから乗車。降車ラインの手前で、足が一歩以上地面に着いてから降車。

■ バイク（自転車）

- 1 バイクは体に合ったものを使用する。
- 2 ヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 3 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会スタッフ、競技役員の指示に従い競技する。
- 4 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- 5 キープレフト：左側走行（左端から 1m、コース幅の左側 1 / 3 以内基準）で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 6 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越し」と効果的。
- 7 ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。
- 8 キッズ・ジュニア・ビギナークラスのDHハンドルの装着禁止。

<ドラフティングルール>

- 1 ドラフティングとは、前走者や車両のドラフトゾーンに入って走る（風よけにして、空気抵抗を減らし楽に走ろうとする）事です。
- 2 ドラフトゾーンの範囲は、バイク前輪の最前部を起点に後方 10m、横幅 3m（左右それぞれ 1.5m）の内側。前走者を追越す場合は、ゾーン内に進入可。ただし、15 秒以内。
- 3 ドラフトゾーンへ入れるのは、15 秒以内に前走者を追越せるとき。及び減速が必要なトランジション出入り口、折返し地点。

<バイク追越しの決まり>

- 1 安全に素早く追い越せると判断したら、後方確認、右手を挙げ、右側から追い越しに入る。センターラインは越えない。
- 2 追い越したら、再度後ろを確認。左手で合図し、キープレフト走行に戻る。
- 3 追い越し中は、《追い抜き意志を持って、前進している》ように見えなければいけない。ピッタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。
- 4 前輪最前部が、先行する前輪の最前部よりも前に出たときに「追い越した」と見なす。
- 5 追い越されたら、すぐ抜き返したり、背後に付いてはいけない。後退しているように見えなければ注意を受ける。15 秒以内に後方 7m まで下がる。

■ ラン（ランニング）

- 1 第 1 ラン、第 2 ラン共に左側通行です。
- 2 追越しは前走者の外側から。

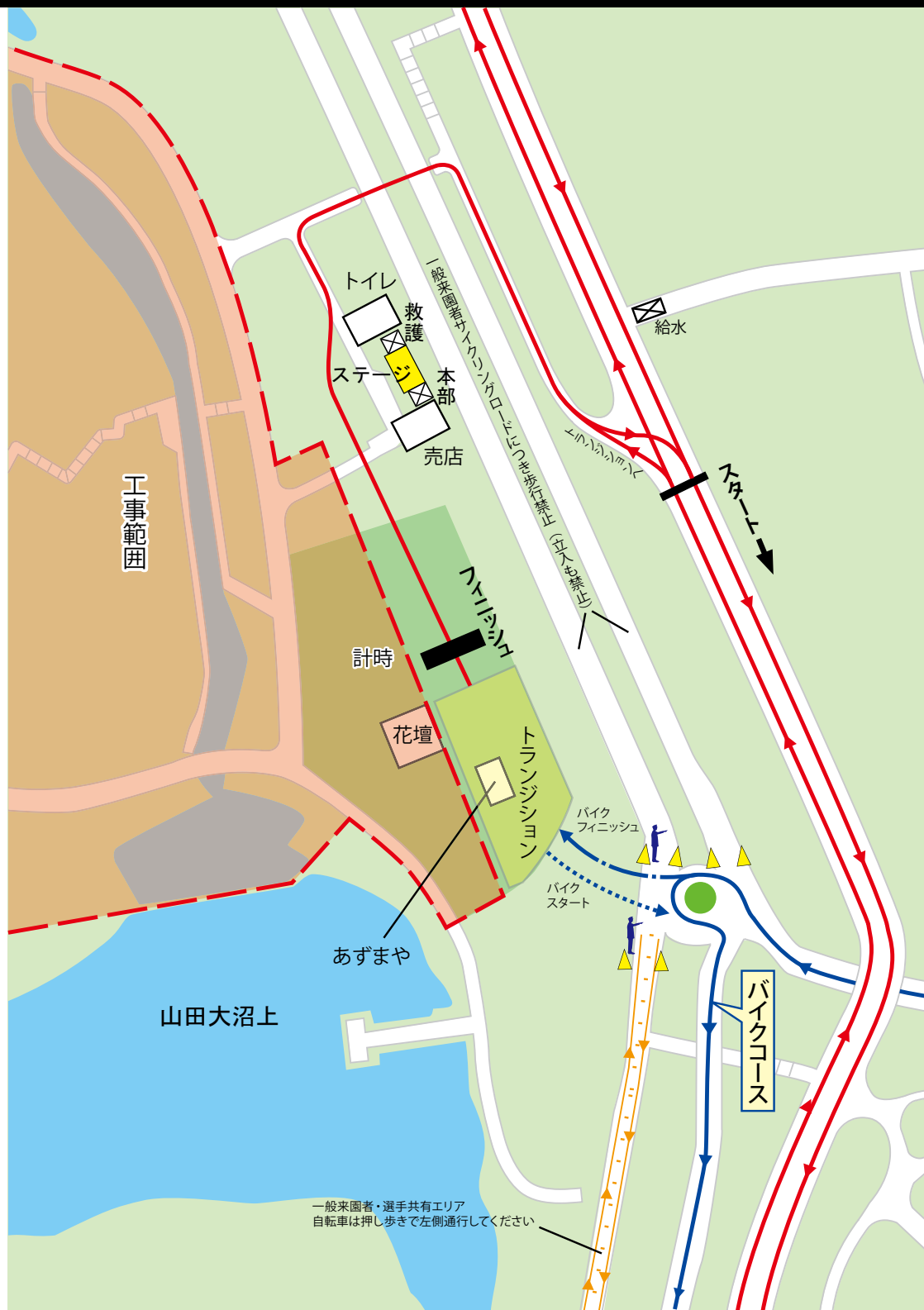
■ エイドステーション

- 1 スタッフは、止まって渡し、走らない。競技者が注意して受け取る。
- 2 エイドステーション以外での支援は禁止。

今大会のバイクコースにはエイドステーションはありません。各自バイクボトルなどに補給ドリンクをご用意ください。エイドステーションは、ランコース上にあります。



メイン会場図





ランコース図

エリートランコース

第1ラン 4.9km

スタート (①) → ② → ① +

① → ③ → ① → ② → ① × 2 周回

①からトランジションへ

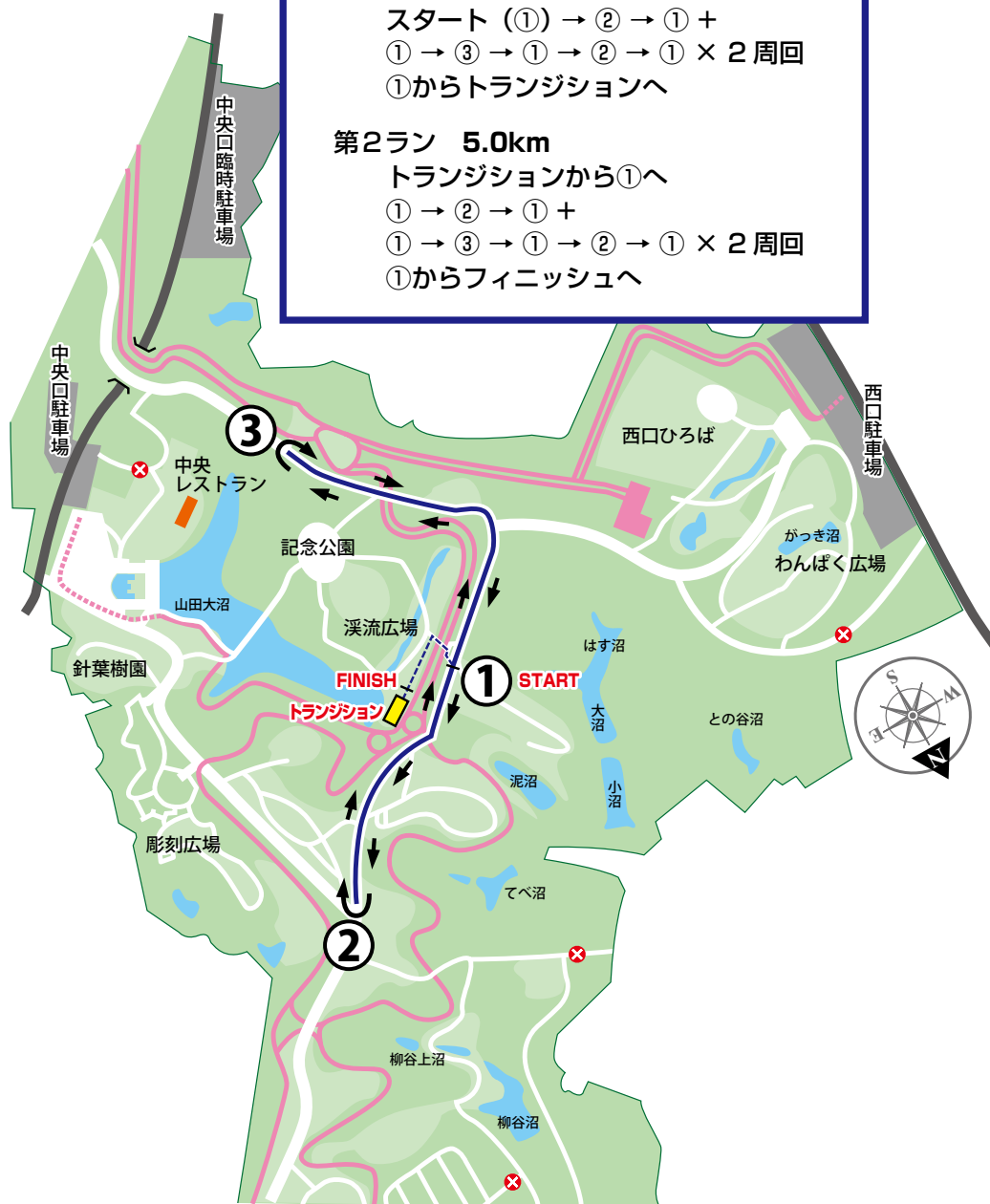
第2ラン 5.0km

トランジションから①へ

① → ② → ① +

① → ③ → ① → ② → ① × 2 周回

①からフィニッシュへ





バイクコース図

